

経営比較分析表（令和2年度決算）

岐阜県 御嵩町

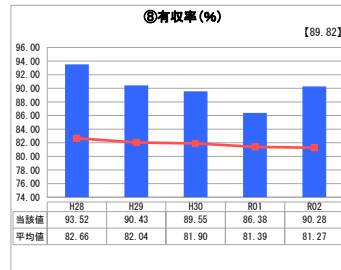
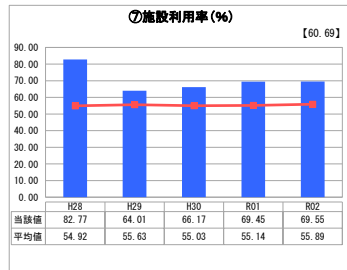
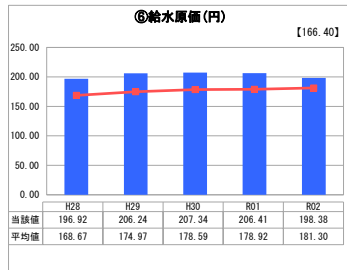
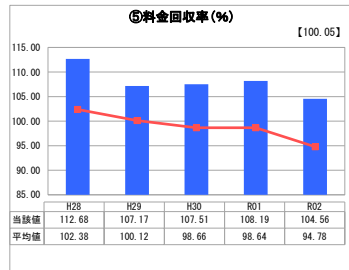
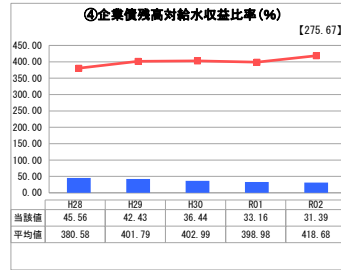
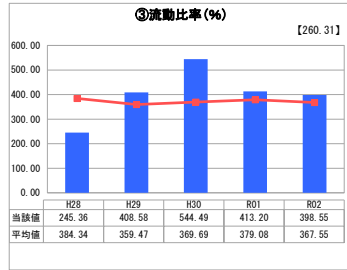
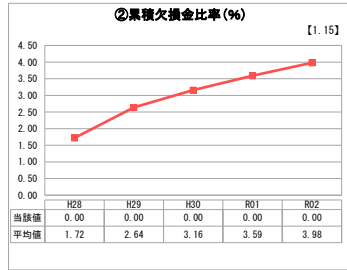
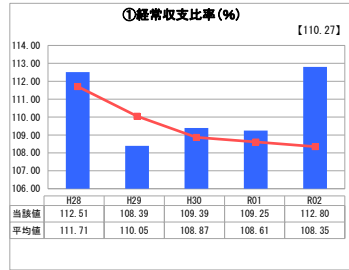
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)	
-	94.80	99.65	4,158	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
18,133	56.69	319.86
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
17,994	21.60	833.06

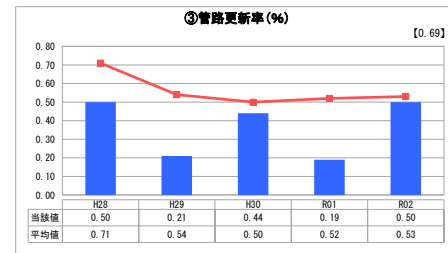
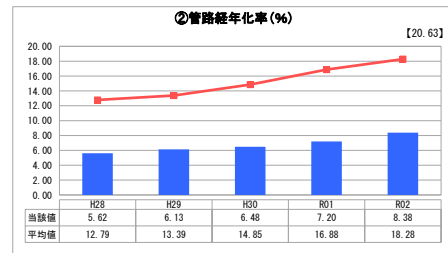
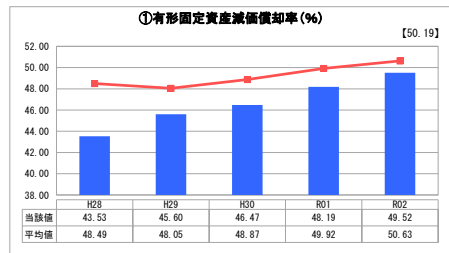
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率
毎年100%を超えています。令和2年度は水道料金減免事業費に対する他会計補助金により増加しました。

② 累積欠損金比率
累積欠損金が発生していないため0%となっています。

③ 流動比率
収入は増えたが、建設改良事業費等も増えたため減少しました。

④ 企業債残高対給水収益比率
新たに企業債の借入を行っておらず、年々減少傾向にあります。類似団体と比較しても低い状態です。

⑤ 料金回収率・⑥ 給水原価
料金回収率は、水道料金減免事業により給水収益が減少したことにより供給単価が減少したため減少しました。給水単価は類似団体を上回っているため、より一層の経費削減を図る必要があります。

⑦ 施設利用率・⑧ 有収率
類似団体と比較して上回っているが、今後も引き続き老朽管の布設替えの推進や漏水調査等の実施により、有収率の更なる向上に努めていく必要があります。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率・② 管路経年化率
類似団体を下回っているが、年々増加傾向にあります。平成26年度以降、新地方公営企業会計制度の適用に伴うみなし償却制度の廃止により年々増加しています。

③ 管路更新率
有形固定資産減価償却率及び管路経年化率は今後も増加することが見込まれるため、計画的に管路の更新を進めていくことが必要になります。

全体総括

人口減少に伴い、今後給水収益の減少が見込まれる一方で、地震などの災害に対応するため、施設の維持管理や更新費用の増加が見込まれます。そのため、老朽化した施設の更新とともに統廃合を計画的に進め、経費の削減に努めながら事業運営を進めていくことが必要になります。